

第三学年 年間指導計画

目標 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 (2)

(ア) 文字の組み立て方を理解し、形を整えて書くこと。

(イ) 漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書くこと。

(ウ) 点画の種類を理解するとともに、毛筆を使用して筆圧などに注意して書くこと。

配当時間 30時間

月	単元名・(ページ)	時間	学習目標	学習活動	評価
4月	一 横画 「十」 (P8～9)	2	○ 始筆・送筆・終筆の筆使いを理解して、横画を書くことができる。 ○ 縦画と「おれ」の筆使いを理解して書くことができる。 ○ 四面めの接筆に注意して書くことができる。	○ 「始筆」「送筆」「終筆」の名称を知り、覚える。 ○ 「始筆」の角度を確認する。 ○ 「始筆」「送筆」「終筆」の筆使いを確かめながら横画を書く。 ○ 穂先がどこを通っているかを確認する。 ○ 「始筆」の角度にも注意しながら「日」を書く。 ○ 硬筆に持ち替えて、毛筆の筆使いを想起しながら漢字を書く。	○ 「始筆」「送筆」「終筆」の名称を理解している。 ○ 「始筆」「送筆」「終筆」の筆使いができています。 ○ 筆圧に注意して書いている。 ○ 毛筆での学習を硬筆に生かそうとしている。
5月	二 たて画とおれ 「日」 (P10～11)	2	○ 縦画と「おれ」の筆使いを理解して書くことができる。 ○ 四面めの接筆に注意して書くことができる。	○ 縦画と「おれ」の筆使いを理解する。 ○ 穂先がどこを通っているかを確認する。 ○ 四面めの接筆を確認する。 ○ 「始筆」の角度にも注意しながら「日」を書く。 ○ 硬筆に持ち替えて、毛筆の筆使いを想起しながら漢字を書く。	○ 正しい筆使いで、「たて画」と「おれ」を書いている。 ○ 横画の接筆に注意して書いている。 ○ 毛筆での学習を硬筆に生かそうとしている。
6月	三 はらい 「人」 (P12～13)	2	○ 左右の「はらい」の筆使いを理解して、正しく書くことができる。	○ 「左はらい」「右はらい」の筆使い・筆圧の変化を理解する。 ○ 穂先がどこを通っているかを確認する。 ○ 「始筆」の角度にも注意しながら「人」を書く。 ○ 硬筆に持ち替えて、毛筆の筆使いを想起しながら漢字を書く。	○ 左右の「はらい」を、正しい筆使いで書いている。 ○ 毛筆での学習を硬筆に生かそうとしている。
7月	四 はね 「力」 (P14～15)	2	○ 「はね」の筆使いを理解して、正しく書くことができる。 ○ 「はね」の筆使いを理解して書くことができる。	○ 「はね」の筆使いを理解する。 ○ 穂先がどこを通っているかを確認する。 ○ 「始筆」の角度や「おれ」「はらい」に注意しながら「力」を書く。 ○ 「はね」には様々な方向があることを確認する。 ○ 硬筆に持ち替えて、毛筆の筆使いを想起しながら漢字を書く。	○ 正しい筆使いで「はね」を書いている。 ○ 「はね」の様々な方向を理解して書いている。 ○ 毛筆での学習を硬筆に生かそうとしている。
9月	五 曲がりとおれ 「点」 (P16～19)	3	○ 「曲がり」と「おれ」の筆使いの違いを理解して、正しく書くことができる。 ○ 「点」の筆使いを理解して書くことができる。 ○ 小筆の扱い方と持ち方を理解して書くことができる。	○ 「曲がり」と「おれ」の筆使いの違いを理解する。 ○ 穂先がどこを通っているかを確認する。 ○ 「点」の筆使いを理解する。 ○ 「横画」「左はらい」の方向を確認する。 ○ 小筆で名前を書く。 ○ 硬筆に持ち替えて、毛筆の筆使いを想起しながら文字を書く。	○ 「曲がり」と「おれ」の筆使いの違いを理解して、正しく書いている。 ○ 「点」の筆使いを理解して書いている。 ○ 小筆の持ち方を理解して、名前を書いている。
	・毛筆学習の進め方 (P20～21)	なし	○ 試し書きから自分の課題を見つけて練習し、まとめ書きをすることができる。	○ 一連の練習方法を知り、自学自習のための一つの手段として確認する。	○ 試し書きから自分の課題を見つけて、自分自身で学習していく方法を理解しようとしている。

12月、1月	3月		2月	11月	10月		月						
十 書きぞめ (P44～46)	・筆ができるまで (P43)	・ローマ字 (P42)	九 学習のまとめ 「水玉」 (P36～38)	八 画の長短と文字の中心 「山里」 (P32～35)	七 ひらがな 「かり」 (P28～30)	・横書きの書き方 (P26～27)	六 漢字やかなの大きさと配列(硬筆) (P22～23)	単元名・(ページ)	時間	学習目標	学習活動	評価	
3	なし	1	3	2	3		3						
○既習事項を応用して、書き初めを書くことができる。	○毛筆用具である筆の製造工程を知り、興味を持つことができる。	○形を整えて、ローマ字を書くことができる。	○基本となる点画の筆使いを想起しながら、自らめあてを立てて文字を書くことができる。	○縦画の長短、横画の長短に注意して、文字の中心を考えて書くことができる。	○平仮名の「曲がり」「はね」「はらい」の筆使いに注意して書くことができる。	○横書きの文や文章を書くことができる。	○漢字・仮名の大きさのバランスに注意し、文字の中心をそろえて書くことができる。			○漢字と仮名の大きさを確かめ、大小のバランスがあることを知る。 ○行の中心と文字の中心が一致していることを確かめる。 ○原稿用紙に書く際の約束事を確かめる。 ○漢字と仮名のバランス、行の中心と文字の中心の取り方に注意して書く。	○漢字と仮名の大きさを確認し、漢字の中心をそろえて、縦書きをする。 ○葉書の書式にふさわしい書き方を覚える。	○漢字と仮名の大きさを確認し、大小のバランスがあることを知る。 ○行の中心と文字の中心が一致していることを確かめる。 ○原稿用紙に書く際の約束事を確かめる。 ○漢字と仮名のバランス、行の中心と文字の中心の取り方に注意して書く。	○漢字より仮名は少し小さめに書いている。 ○中心をそろえて書いている。 ○原稿用紙の正しい使い方を理解している。
○毛筆の既習事項を思い出して書く。 ○書き初めを書くときの姿勢を知る。	○筆の製造工程に興味を持つ。	○アルファベットの大文字と小文字を、形を整えて書く。 ○ローマ字を使って人名や地名を書く。	○三つの手本文字から書きたいものを選び、その文字にある筆使いと中心や字形の取り方を確認する。 ○自分自身の課題をはっきりさせる。 ○課題をもとに、他の筆使いなどにも注意して手本文字を書く。 ○硬筆に持ち替えて、自分の課題を意識しながら手本文字を書く。	○整った字形には、画の長短があることを理解する。 ○文字の中心を確かめる。 ○画と画の間隔を整えることを理解する。 ○筆使いや画の方向にも注意して「山里」を書く。 ○硬筆に持ち替えて、字形の整え方を想起しながら手本文字を書く。 ○字形を整える際には、漢字の組み立て方にも注意することを確認する。	○平仮名の筆使いを理解する。 ○漢字の筆使いと比べ、筆脈が現れていることに気付かせる。 ○筆使い、筆脈に注意して書く。	○横野の用紙に書く際の、文字のそろえ方二態を知る。 ○それぞれの書き方を、実の場に生かす。	○漢字と仮名の大きさを確認し、漢字の中心をそろえて、縦書きをする。 ○葉書の書式にふさわしい書き方を覚える。	○漢字と仮名の大きさを確認し、大小のバランスがあることを知る。 ○行の中心と文字の中心が一致していることを確かめる。 ○原稿用紙に書く際の約束事を確かめる。 ○漢字と仮名のバランス、行の中心と文字の中心の取り方に注意して書く。	○漢字と仮名の大きさを確認し、漢字の中心をそろえて、縦書きをする。 ○葉書の書式にふさわしい書き方を覚える。	○漢字と仮名の大きさを確認し、大小のバランスがあることを知る。 ○行の中心と文字の中心が一致していることを確かめる。 ○原稿用紙に書く際の約束事を確かめる。 ○漢字と仮名のバランス、行の中心と文字の中心の取り方に注意して書く。	○漢字と仮名の大きさを確認し、漢字の中心をそろえて、縦書きをする。 ○葉書の書式にふさわしい書き方を覚える。	○漢字と仮名の大きさを確認し、漢字の中心をそろえて、縦書きをする。 ○葉書の書式にふさわしい書き方を覚える。	
○意欲的に書き初めをしようとしている。 ○毛筆の既習の学習を生かして、長い紙に書いている。 ○文字の大きさや中心を意識して、収まりよく書いている。 ○長い紙に書くときの姿勢などを理解している。	○毛筆用具である筆の製造工程に興味を持ち、筆や用具の扱いに生かそうとしている。	○アルファベットの太文字と小文字を丁寧に書いている。 ○自分の名前をローマ字で書いている。 ○進んでローマ字表記をしようとしている。	○三年生で学習した基本点画の筆使いで書いている。 ○画の長短や文字の中心など、字形に注意して書いている。 ○毛筆の学習を硬筆でも生かそうとしている。	○字形を整えて書こうとしている。 ○画の長短や文字の中心に注意して書いている。 ○文字の組み立て方に注意して書いている。 ○毛筆の学習を硬筆でも生かそうとしている。	○平仮名の特徴を考えて、硬筆で書いている。 ○「曲がり」の筆使いや、筆脈に注意して「はね」「はらい」の筆使いを書いている。 ○平仮名の筆使いを理解している。	○横書きの整え方を理解しようとしている。 ○自分のノートを見直し、生活に生かそうとしている。	○漢字と仮名の大きさを確認し、漢字の中心をそろえて、縦書きをする。 ○葉書の書式を理解している。	○漢字と仮名の大きさを確認し、漢字の中心をそろえて、縦書きをする。 ○漢字と仮名の大きさを確認し、大小のバランスがあることを知る。 ○行の中心と文字の中心が一致していることを確かめる。 ○原稿用紙に書く際の約束事を確かめる。 ○漢字と仮名のバランス、行の中心と文字の中心の取り方に注意して書く。	○漢字と仮名の大きさを確認し、漢字の中心をそろえて、縦書きをする。 ○葉書の書式にふさわしい書き方を覚える。	○漢字と仮名の大きさを確認し、漢字の中心をそろえて、縦書きをする。 ○漢字と仮名の大きさを確認し、大小のバランスがあることを知る。 ○行の中心と文字の中心が一致していることを確かめる。 ○原稿用紙に書く際の約束事を確かめる。 ○漢字と仮名のバランス、行の中心と文字の中心の取り方に注意して書く。	○漢字と仮名の大きさを確認し、漢字の中心をそろえて、縦書きをする。 ○葉書の書式にふさわしい書き方を覚える。	○漢字と仮名の大きさを確認し、漢字の中心をそろえて、縦書きをする。 ○漢字と仮名の大きさを確認し、大小のバランスがあることを知る。 ○行の中心と文字の中心が一致していることを確かめる。 ○原稿用紙に書く際の約束事を確かめる。 ○漢字と仮名のバランス、行の中心と文字の中心の取り方に注意して書く。	

※第三学年年間指導時数30時間の内、27時間を配当。余りの3時間は、児童の習熟度に合わせた学習や、興味・関心を養う学習を行うなど予備時間として充当する。